

## 収集できない不燃ごみにご注意ください！

不燃ごみ収集でのよくあるルール違反のごみや特に注意していただきたいごみをご紹介します。

### 【ケース1】

スプレー缶・燃料缶やリチウムイオン電池、石油ストーブなど火災事故に繋がる恐れがあるものを不燃ごみとして出している。

スプレー缶やリチウムイオン電池などがごみ収集車や破砕機に入ると、発火し火災事故に繋がることがあります。

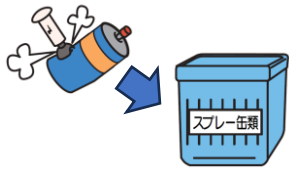
収集車、ごみ処理施設、付近の住宅などに被害を及ぼすおそれがあるほか、人の生命に関わる重大な災害に繋がる可能性があるため、不燃ごみでは収集できません。



▲実際に起きた火災事故

#### ■スプレー缶

カセットボンバ・ヘアースプレー・スプレー式缶・塗料スプレー缶など



穴をあけて、資源ごみの収集日にスプレー缶類の容器に入れてください。

#### ■燃料缶

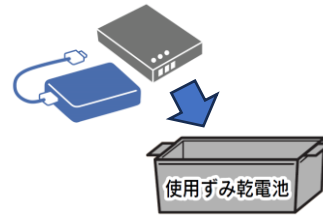
塗料缶・エンジンオイルの缶・ガソリン混合油缶・シンナー類の缶など



中を空にして、資源ごみの収集日にスプレー缶類の容器に入れてください。

#### ■リチウムイオン電池

携帯充電バッテリー、小型電子機器内蔵バッテリーなど



資源ごみの収集日に使用済み乾電池類の容器に入れてください。

#### ■石油ストーブ

石油ストーブ、石油ファンヒーターなど



粗大ごみの収集に出すか、直接施設に持ち込んでください。

穴をあける、燃料を抜くなど安全措置をいただいても、ごみ袋の外側からでは安全措置が確実にできているか判別つかないため、これらは不燃ごみでは出せません。

### 【ケース2】

指定袋の中に中身が確認できない袋を二重袋にして出されている。

中が確認できない袋を内袋にしてスプレー缶やがれきなど収集できないごみを入れて出される可能性があるため、米袋や色付の袋を内袋にして不燃ごみを出された場合は収集できません。



▲中が確認できないように出されると、危険なごみが入っていないか確認することができません！

刃物や割れたガラスを出す場合など、二重袋にせざるを得ない場合は透明な袋に入れたり、包んだ紙や袋に内容物を記載するなど、中身が確認できるようにして出してください。



▲刃物類の出し方の例

## その他不燃ごみでは収集できないケース(一例)

例	処理方法
不燃ごみ指定袋に入っていない	不燃ごみ指定袋に入れてください。
瓦、コンクリートブロック、レンガ、火鉢、漬物石などがれき類を出している	処理施設に直接持ち込んでください。
ビデオテープを出している	テープ部分が破砕機に絡まり、故障の原因となります。可燃ごみに出してください。
カーペットやぬいぐるみ、布団などの可燃性粗大ごみを出している	不燃ごみでは処理できません。粗大ごみとして出してください。
ライターを出している	火災の原因となるため、資源ごみの日にライターの容器に出してください。
発泡スチロールを出している	発泡スチロールは資源ごみに出してください。汚れて資源にならないものは可燃ごみに出してください。
事業所から出た不燃ごみを出している	事業所からの不燃ごみは収集できません。産業廃棄物処理業者等にご相談ください。
消火器、自動車のバッテリーやタイヤなどの自動車部品、耐火金庫、油圧式ジャッキ、ポンプ類、毒物などセンターで処理できないものを出している	これらはセンターでは処理することはできません。販売店にご相談ください。

など

## ごみ分別アプリ「こほくる〜る」をご活用ください！

湖北広域行政事務センターではごみの出し方や分別辞典、自治会ごとの収集日などを簡単に確認できるごみ分別アプリ「こほくる〜る」を配信しています。下記QRコードからダウンロードできますので、ぜひご活用ください。



※アプリは無料ですが、通信料は利用者の負担となりますのでご注意ください

### ■日本語版



▲iOS版



▲Android版

### ■外国語版



▲iOS版



▲Android版

(英語・スペイン語、ポルトガル語、中国語、ベトナム語に対応)